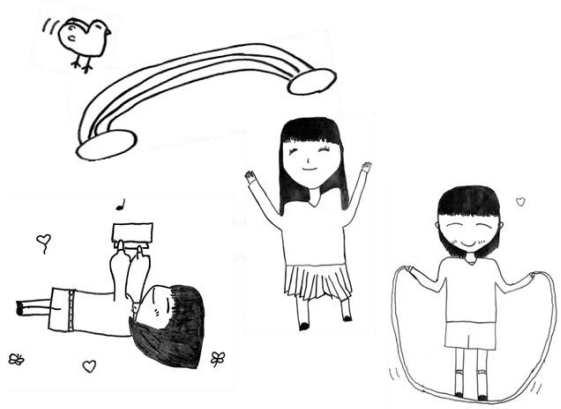
学童保育指導員（放課後児童支援員等）の資質向上のための研修会

第５１回
全国学童保育指導員学校東北会場



2026年７月５日（日）
10：00～16：00（9：30開場）
会場：宮城教育大学

【公開講座】
2026年７月4日（土）
１４：００～１５：３０（13：３０開場）
会 場：宮城教育大学 ２１０教室
オンライン併用（13:３０受付開始）

学童保育は、「子どもたちの放課後を安全に集団の中でいきいきと成長させたい。そして安心して働きたい。」という親たちの切実な願いから生まれました。2025 年５月現在、全国には３万 8,265 支援の単位（２万 4,856 か所）の学童保育があり、151 万 7,772 人の子どもたちが毎日生活しています。毎年学童保育を希望する子どもの数が増えていますが、施設の整備が追いつかずに入れない子も多くいます。

2011 年、東日本大震災と原発事故が起きました。その後も、豪雨による水害や豪雪、度重なる地震など、自然の猛威による災害が続いていますが、東北各地の学童保育では、指導員が子どもの命と心を守り、その後も子どもと保護者の生活と心を支え続けています。

全国学童保育連絡協議会は、指導員の存在・かかわりをどのように作りだしていくかなど、子ども・保護者と指導員が共につくり続けてきた生活づくりを大切にしてきました。「学童保育は社会の機能を維持するために必要な事業」であるという認識や期待は社会に広がりましたが、現場での指導員の処遇や専門性、現行の制度など、まだまだ取り組むべき課題は山積しています。

子どもの命を守り、安全に安心して過ごせる継続的な「生活と遊びの場」を保障するために、また、高い専門性が求められる指導員が、正規・常勤雇用の専門職として自信と誇りをもって働き続けるために、ともに学び合いましょう。

主 催　全国学童保育指導員学校東北会場実行委員会
全国学童保育連絡協議会
青森県学童保育連絡協議会準備会・岩手県学童保育連絡協議会
宮城県学童保育連絡協議会・山形県学童保育連絡協議会
福島県学童クラブ連絡協議会
協 力　宮城県学童保育緊急支援プロジェクト
協 賛　公益財団法人 仙台観光国際協会
後 援　（予定）　宮城教育大学
宮城県･仙台市･青森県･岩手県･秋田県･山形県･福島県 ほか 東北各自治体
東北のマスコミ各社

◆ 日　程

7月5日（日）

9：30	10：00	12：00	13：15	16：00
受　付	全　体　会	休　憩	講　座	

◆ **全体会**　10：00～12：00（9：30～受付開始）

- **基調報告　全国学童保育連絡協議会　門田 弘之**
- **全体講義**

  〈子どもの権利〉に基づく放課後の〈暮らし〉ー 型にはめる保育からの解放

  講師：佐藤 哲也　（宮城教育大学）

【講師プロフィール】　宮城教育大学教授、副学長、教育学部長、大学院研究科長。専門は幼児教育学。仙台市や宮城県内の子育てをめぐる各種委員等を歴任。

全体講義では、学童保育等における「型にはめる保育」＝「規律訓練型保育」からの脱却を提言します。そのうえで、子どもの“ありのままの姿”を「暮らし」の視点で捉え直す大切さについて、お話しをしていただきます。

【全体会会場】　宮城教育大学 講堂　仙台市青葉区荒巻字青葉 149 番地

【講 座 会 場】　宮城教育大学 講義棟（2 号館）

会場へのアクセス情報
https://x.gd/JZDJw

- **アクセス**

  ① 地下鉄利用の場合

  仙台駅から市営地下鉄東西線八木山動物園行き

  青葉山駅下車　北１出口から徒歩約９分

  ② 大学には駐車できません（近隣に駐車場はありません）

【無料公開講座】

一緒に食べると心もつながる ― 特別じゃないアレルギー対応

- **日 時：7月4日（土）１４：００～１５：３０　（受付開始 13：30）**
- **内 容：**

  みんなで“食”を囲む時間は、仲間としての心をつなげる大切な時間です。アレルギーの有無に関わらず、同じおやつを一緒に楽しめる工夫があれば、その時間はもっと豊かになります。

  この講座では、特別視しないアレルギー対応の考え方と、すぐに実践できるおやつのアイデアを紹介します。
- **講 師：高橋比呂映**（学童保育の「食」を考える会・仙台青葉学院短期大学）
- **会 場：宮城教育大学** 210 教室　および　**オンライン（Zoom）**
- **公開講座の申込み**　https://x.gd/dMVcR　または QR コード

  締切り　6 月 26 日(金)　　※公開講座だけの締切日です。
- **公開講座のみの参加は無料**

午後の講座　13：15～16：00

講座１	**学童保育とは？　指導員の仕事と「生活づくり」で大切にしたい視点** **門田 弘之（全国学童保育連絡協議会・岩手県滝沢市指導員）**
基　礎 講　座	学童保育は働く保護者の切実な願いから生まれました。学童保育の歴史を踏まえながら、その目的や役割を確認しましょう。また、子ども・指導員・保護者がともに行う、「子ども一人ひとりと子どもたちの生活内容を豊かにするための継続的な営み」である『生活づくり』の視点から、専門職としての指導員の仕事や大切にしたい内容を学びましょう
講座２	**あそびを通して指導員が大切にしたいこと　山田 和江（福島県福島市指導員）**
講　義 交　流	学童保育で子どもたちが夢中になっている「あそび」。私たちはその姿をどんな思いで見守っているのでしょうか。「あそび」は教えられるものではなく、子どもたちが自分たちで生み出し、広げていくもの。その時間そのものが子どもたちの大切な学びになっています。日々の迷いや悩みを持ち寄りながら、指導員としての関り方をみんなで一緒に考えましょう。
講座３	**子どもの生活を保護者と伝え合う　羽生 尚美　（山形県米沢市指導員）**
講　義 交　流	わが子が学童保育に楽しく通うことで、保護者は安心して働き続けることができます。そのために保護者と指導員は子どもの様子を伝え合い、学童保育での生活をより良いものにしてきました。学童保育でも家庭でも、子どもにとって安心で生き生きとした生活が成長の支えとなるよう、保護者と指導員の伝え合いの大切さを学びましょう。
講座４	**学童保育の実践記録と実践検討～子ども理解を深めるために～** **山形県学童保育連絡協議会指導員有志**
講　義 交　流	指導員は、一人ひとりの子どもを理解したい（子どもの言動の背景にある気持ちや願いを受けとめたい）と日々記録を取りながら、実践を振り返り検証しています。記録の重要性を確かめ合い、一定期間綴った記録を用いた実践検討を通じて、こども理解を深めましょう。
講座５	**障害のある子どもたちを含めた生活づくり　松浦 淳（青森県学童保育連絡協議会準備会）**
講　義 交　流	学童保育で障害のある子どもが放課後を過ごすのには、どういう意味があるのでしょうか。子どもの立場から、学校や放課後等デイサービスとの違いについて確認するとともに、学童での時間を経て、子どもが将来「あの時、私は確かにここにいたんだなあ」と思える過ごし方に向けて、また色んな気持ちが沸き上がったとき伝えたい相手のいる人生を歩んでもらうために、私たちができることを、学び考えましょう。
講座６	**学童保育と指導員をめぐる情勢と課題　千葉 智生（全国学童保育連絡協議会）**
講　義 交　流	国は、「登録児童数は 2030 年頃に約 165 万人でピークを迎えると推計される」として、「場の確保」「人材の確保」にひきつづき取り組むとしていますが、国や自治体から示される施策は、保育の質の向上とはほど遠く、現場の実態が反映されていないことがあります。また、「こども性暴力防止法」の施行も年末に控えています。全国・地域の状況を共有し、交流を通して、課題解決の手立てをともに考えましょう。
講座７	**学童保育指導員の職場倫理を考える～職員集団で守る子どもの人権～** **高橋 誠（全国学童保育連絡協議会）**
講　義 交　流	子どもによりよい「生活の場」を保障するためには、職員集団として子どもへの理解を深め、子どもとかかわることが必要です。子どもが置かれている状況をふまえ、子どもの人権、指導員としての職業倫理、職員集団づくりのありかたについて学びます。
講座８	**子どもをとりまく社会～学校・家族・放課後世界はどう変わったか～　松田 洋介（大東文化大学）**
講　義	近年、学校も、子どもたちの放課後世界のありようも大きく変容しつつあります。今日の子どもたちがどのような社会に生きているのか、子どもたち自身が世界をつくり出すために何ができるのか、統計データや具体的な事例をお示ししながら、みなさんと考えたいと思います。
講座９	**ネット社会の中の子どもたち～こどもを取り巻く情報化社会、大人にできることは～** **渡辺 雅之（大東文化大学）**
講　義	インターネットは今、子どもたちの生活と切り離せないものになっていますが、同時に危険も潜んでいます。子どもたちの現状について学び合い、インターネットが普及した社会で生きる子どもたちの成長を支えるために、「大人ができることは何か」「学童保育で取り組めることは何か」を共に考えましょう。

◆ **受講料**　　一人　2,500 円（税込）　　※公開講座のみの参加者は無料

◆ **定　員**　申込みは先着順です。定員がありますので、お早めにお申込みください。
※午後の講座は第２希望までご記入ください。定員超過の際はご希望に沿えないこともあります。

◆ **昼　食**　希望者には弁当を８００円（飲み物は各自でご用意ください）で斡旋します。
※会場の宮城教育大学近隣には、コンビニや飲食店はありません。

◆ **申込み方法**

- 申し込み用紙に必要事項をご記入のうえ、受講料（一人 2,500 円）と弁当代（希望者）を指定の口座に送金し、控えのコピーを添えてメールまたはFAX でお申し込みください。
- 申し込みに際し記入いただいた個人情報は、指導員学校の受付業務・運営・助成金申請に必要な範囲で、実行委員会が管理・運用致します
- 保育を受け付けます（３歳以上～小学６年生まで）。保育料は３００円となります。参加申し込みと合わせて、事前に申し込んでください。

◆ **申込み先**　**青森県：青森県学童保育連絡協議会準備会**　【詳細は別紙をご覧ください】
岩手県・岩手県学童保育連絡協議会　【詳細は別紙をご覧ください】
宮城県：宮城県学童保育連絡協議会　【詳細は別紙をご覧ください】
山形県：山形県学童保育連絡協議会　【詳細は別紙をご覧ください】
福島県：福島県学童クラブ連絡協議会　【詳細は別紙をご覧ください】

*上記５県以外の方の申込先
【運営事務局】
福島県学童クラブ連絡協議会　TEL・FAX：024-521-2362
Mail：fukushimaken.gakudou.club@gmail.com
受講料送金先：福島信用金庫　吉井田支店　金融機関コード【1190】
口座名　福島県学童クラブ連絡協議会
店番【012】　口座番号【0273595】
＊ 振込手数料については各自負担になりますので、ご了承ください。

◆ **締切り**

- ６月12日（金）　キャンセル期限　６月19日(金)　＊会場での当日受付があります。

※キャンセル期限までにご連絡いただいた場合は、振込み手数料を差し引いて返金致します。
それ以降につきましては、「受講のしおり」の発送をもってかえさせていただきます。

◆ **問合せ先**　研修内容：全国学童保育連絡協議会　　０３－３８１３－０４７７
申込み等：福島県学童クラブ連絡協議会　　０２４－５２１－２３６４
または、青森・岩手・宮城・山形 各県の連絡協議会まで。

◆ **お願い**

- 受講時の不測の事態に備え、当日確実に連絡が付く連絡先を必ずご記入ください。
- 「受講のしおり」は、当日会場にてお渡しいたします。
- 保育を希望される方は、各県連協にお問い合わせください。
- 受講のための受講票を発送いたします。